

青海大橋（下り線）に係る補強工事の着手について

上関大橋と同じ構造をもつ青海大橋については、上関大橋復旧検討会議の提言等を踏まえて、補強工法等の検討を進め、令和4年4月から、補強工事に着手することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 場所

長門市大字仙崎（県道青海島線 青海大橋（下り線））

2 経緯

令和3年 5月 鉛直PC鋼棒の異状を確認し緊急調査
モニタリング機器の設置

令和3年10月 上関大橋復旧検討会議の報告書にて同種橋梁にも提言

3 補強工事の概要

（1）工事内容

- ・バックアップ部材；両方の桁端部に補強ケーブルを追加設置
- ・止水・防水対策；排水施設の設置 等

（2）工事予定

令和4年4月着手

《参考》鉛直PC鋼棒の調査

〈緊急調査結果〉

	全体	破断	減厚1mm以上	減厚1mm未満
P3橋脚	12本	2本	6本	4本
A1橋台	12本	0本	1本	11本

- ・主桁端部やヒンジ部に異状や段差がないことを確認
- ・鉛直PC鋼棒を補完する補強鉛直PCケーブルについても異状のないことを確認
- ・調査結果を用いて、鉛直PC鋼棒や補強鉛直ケーブルの解析を実施し、車両等が橋を安全に通行できる強度を有していることを確認

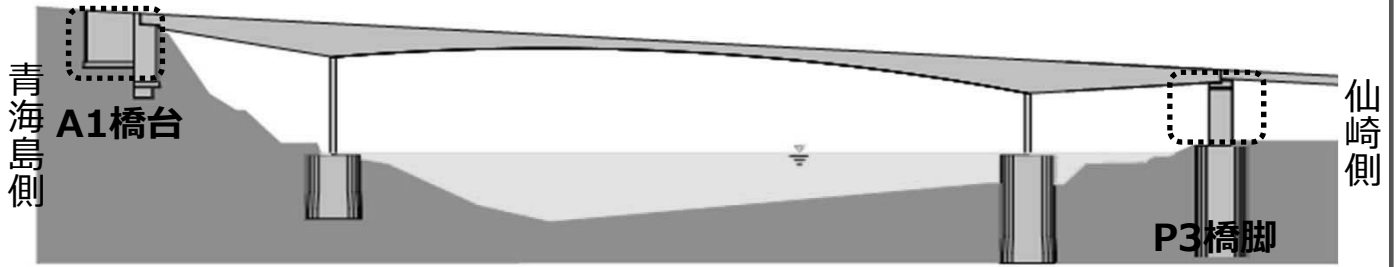
〈破断の原因〉

- ある時点で急速に破面が広がる脆性的な破壊と推定（上関大橋と同様）



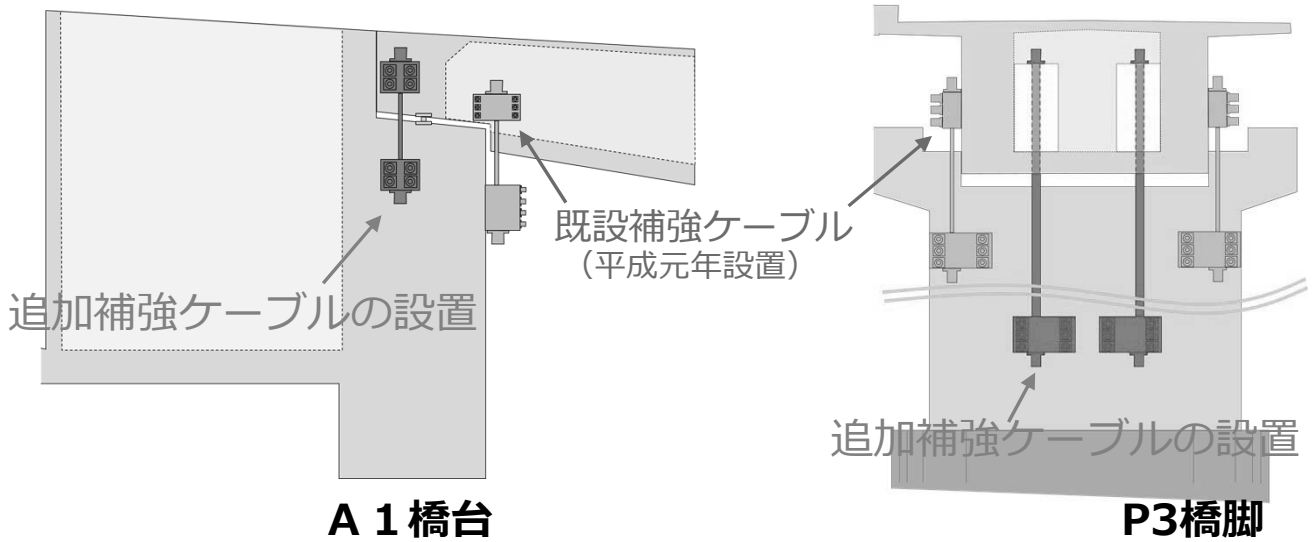
補強工事

<側面図>



《バックアップ部材の設置》

■ 両方の桁端部に補強ケーブルを追加で設置



《止水・防水対策》

■ 鉛直PC鋼棒の腐食が進まないよう排水施設の設置

